

令和4年度 埼玉県公共事業景観形成指針 専門家アドバイス【施工段階】 3. 4. 3中央通停車場線

①基本設計段階のアドバイスへの対応

- (1) 歩道舗装はベージュ系の色彩とし、コストを踏まえて質感の良い舗装とする。
 ⇒ 完成工区に近い、ベージュ系の自然石風のカラー舗装とした。
- (2) 照明灯の色彩を完成工区と同じこげ茶色とする場合でも、電線地中化地上機器の色彩は薄い茶色かオリーブ色の明るい色が望ましい。
 ⇒ 周辺の建物との調和を図れるよう、電線地中化地上機器、信号機、照明灯を薄い茶色で統一した。
- (3) 照明灯の形状は直線型とし、本数を減らす工夫をする。
 ⇒ 形状は直線型テーパーポール状とした。
 また、柱状のものを減らすため、車道用照明灯を歩行者空間も十分な照度が得られるように配置した。
- (4) 植栽は植樹帯が望ましく、高木、低木及び地被類による複層的な植栽とする。
 ⇒ 地元調整の結果等を踏まえ、植栽は実施しなかった。

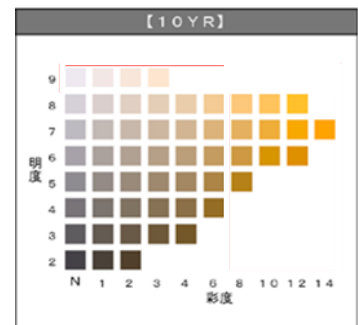


②完成した事業の評価 及び 今後に向けたアドバイス

- (1) 歩道舗装について
 - ・カラー舗装は、色落ちするので、時間が経っても自然な風合いになるものにするのとさらに良い。
 - ・同等のコストで施工可能なものとして、茶色い骨材を入れたアスファルトを洗い出しすると、自然な感じになるので、そういったものを検討すると良い。
- (2) 電線地中化地上機器及び照明灯等の色彩について
 - ・基本設計段階のアドバイスを受け薄い茶系色としているが、明度が高すぎる色彩となっている。国土交通省が「景観に配慮した道路附属物等ガイドライン(※)」等で示す、基本的な色彩(景観色)を使用すると良い。

※「景観に配慮した道路附属物等ガイドライン」では、一般的な我が国の自然や風土、建築物等の融和性の観点から、景観に配慮する際の道路附属物等の基本とする色彩が提示されている。

＜景観に配慮する基本的な色彩のマンセル値＞	
	色相／明度／彩度
・ダークグレー(濃灰色).....	10YR3.0/0.2
・ダークブラウン(こげ茶色).....	10YR2.0/1.0
・オフグレー(薄灰色).....	5Y7.0/0.5
・グレーベージュ(薄灰茶色)....	10YR6.0/1.0



- (3) 植栽について
 - ・関連自治体の緑の基本計画との齟齬がないように調整することが望ましい。
 - ・この地域は緑が少なく、街路樹の緑が与える潤いは重要である。今後、改築等を行う場合には、緑のあり方について地元と十分調整・議論するよう努めて欲しい。
- (4) 未完成工区や今後の修繕時について
 - ・今後、未完成工区の設計や補修工事の際には、H26に行った「基本設計段階のアドバイス(参考資料)」及び今回の「施工段階のアドバイス」の内容を踏まえていただきたい。